中国地方整備局TEC-FORCE『応急対策班（航路啓開）』の活動状況（H29.7.13）

➢ 応急対策班（航路啓開）2名、海面清掃船おんど2000（船員6名）を九州地方整備管内（周防灘海域）へ派遣（出発式）

水谷 中国地方整備局副局長より激励（中央）

派遣への決意表明（小野班長）

おんど2000応急対策（航路啓開）に向け（7：43出航）

その他参考資料
（海面清掃船おんど２０００）

海面清掃船おんど2000の日頃の活動について

国土交通省港湾局では、国土交通省設置法第４条１０３の『国が行う海洋の汚染の防除に関する業務に関すること』に基づき、東京湾、伊勢湾、瀬戸内海、有明・八代海の閉鎖性水域（港湾区域、漁港区域を除く）において、浮遊ごみ・流木・流出油等の回収を実施しています。現在、それぞれの海域に海洋環境整備船を１２隻配備しています。

広島港湾・空港整備事務所では、昭和４９年度（1974）から、海面清掃船「おんど」を運航し、広島湾及び安芸灘の閉鎖性海域で浮遊ごみ・流木等の回収を行っています。平成１２年度（2000）からは、老朽化した「おんど」に替わり海面清掃船「おんど２０００」を配備し、さらに効率的な浮遊ごみ・流木等の回収および油防除業務を実施しています。

（船型）双胴船
（全長）３０．７m
（全幅）１１．６m
（喫水）１．８２m
（総トン数）１４４トン
（航行速力）１４．５ノット

（中国地整）広島港湾・空港整備事務所
「おんど2000」

(近畿地整)神戸港湾
「クリーンはりま」
担務海域：東播磨灘

関門航路事務所
「がんりゅう」

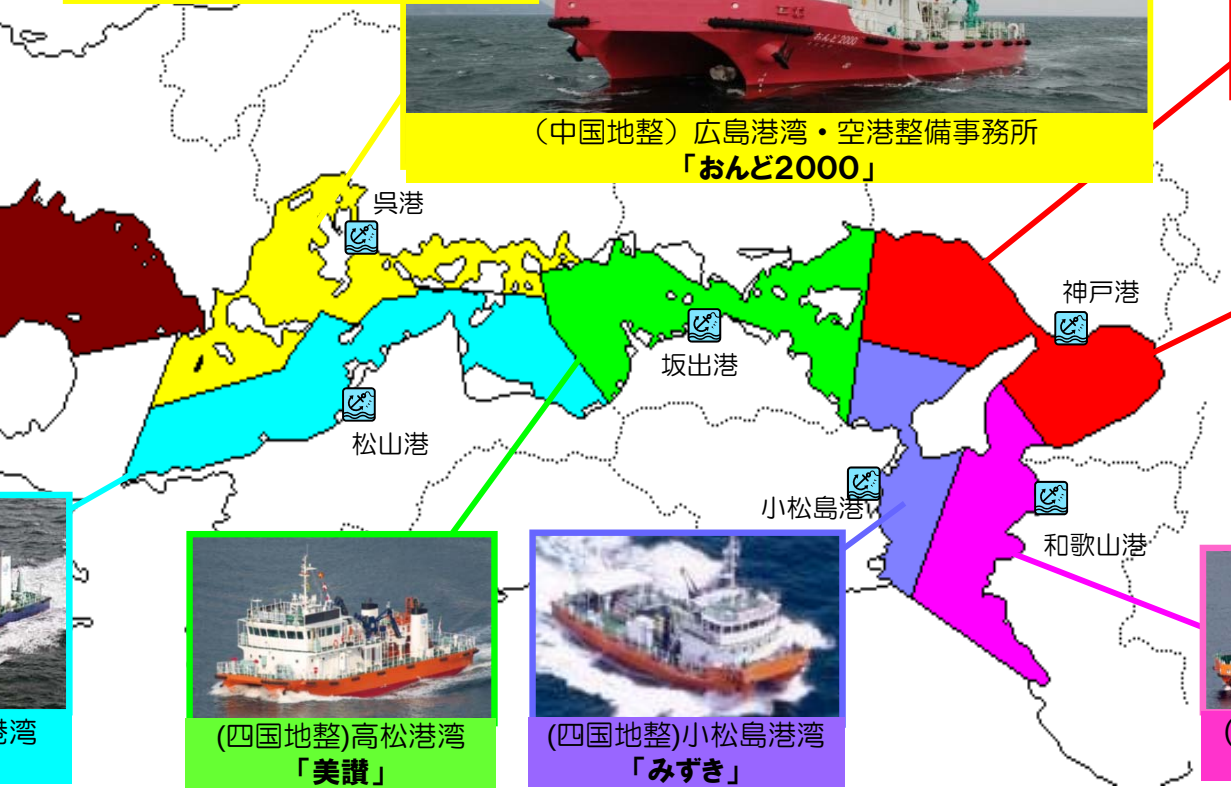
(近畿地整)神戸港湾
「Dr. 海洋」
担務海域：大阪湾

(四国地整)松山港湾
「いしづち」

(四国地整)高松港湾
「美讃」

(四国地整)小松島港湾
「みずき」

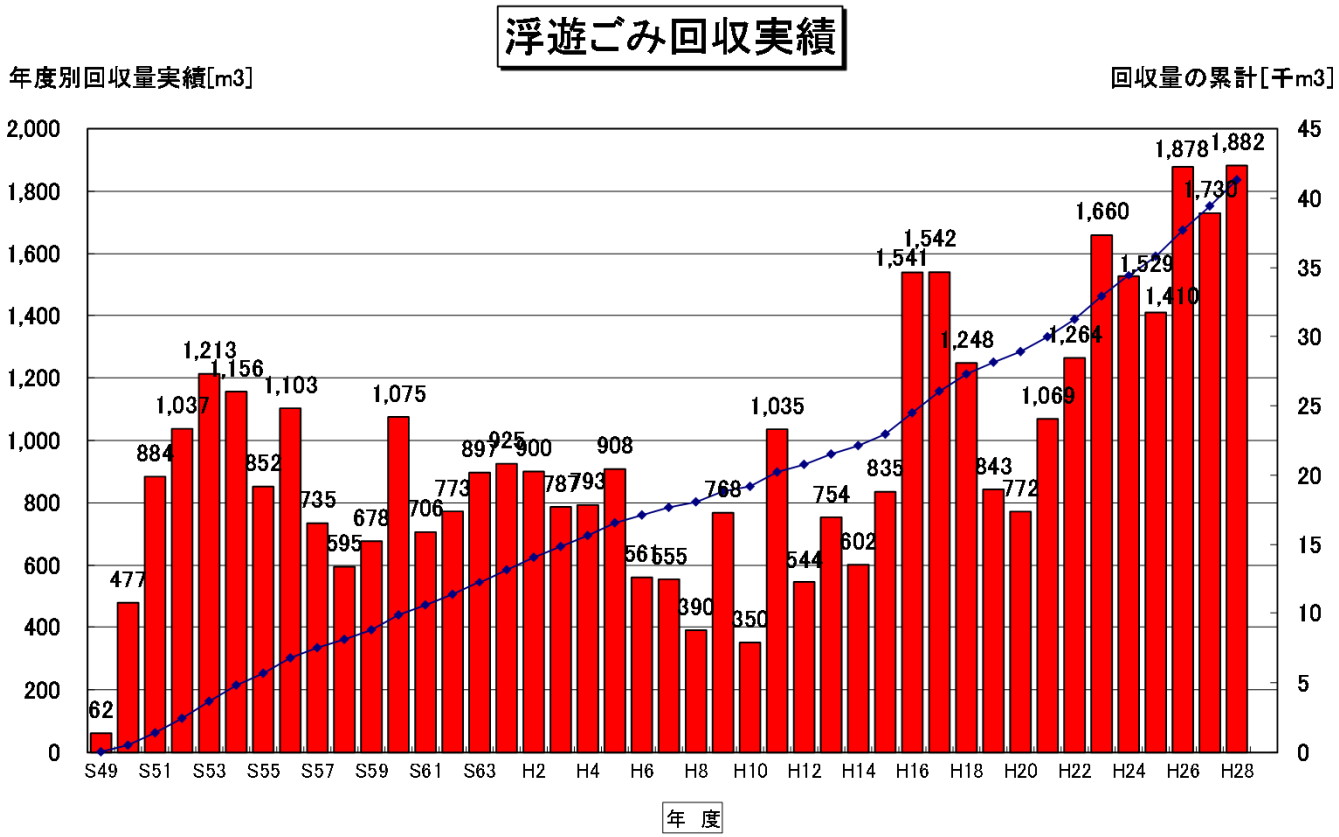
(近畿地整)和歌山港湾
「海和歌丸」



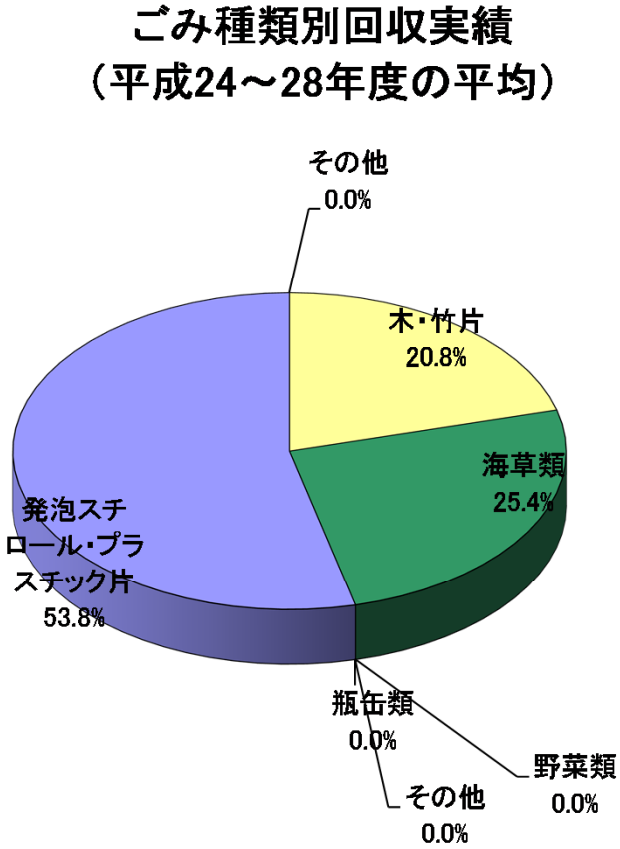
海面清掃船おんど2000でのごみの回収実績

近年は、台風及び低気圧による集中豪雨の頻発に伴い、浮遊ごみの回収量が増加しています。
平成28年度には過去最高の回収量を記録するなど、海洋汚染の防除業務の重要性が増しています。

年度	浮遊ゴミ回収量	要因
H16	1,541 m3	台風接近数が年9回と多く、4月～11月まで毎月100m3を超える浮遊ゴミを回収している。
H24	1,529 m3	4月から8月まで毎月200m3を超え、特に7月は400m3を超える浮遊ゴミを回収している。
H25	1,410 m3	秋期に台風が日本に接近した影響で9月に267m3を回収している。（9月回収量で過去3番目）
H26	1,878 m3	瀬戸内海沿岸に局地的豪雨が頻発し、河川から海域への河ゴミ（樹木、藻類）が増加傾向にあった。
H27	1,730 m3	8月には8年ぶりに2つの台風（15号・16号）が発生した影響もあり、8月に328m3を回収している。
H28	1,882 m3	低気圧や前線の影響により4月から降水量が多く、5月以降さらに梅雨前線の活動が活発化し、中国地方の広い範囲で大雨が続いたことで、平年よりもかなり降水量が多く、陸域からのごみの流入が増加したことが主な要因と考えられる。



（注）S49～H11は「おんど」、H12からは「おんど2000」による実績



熊本地震被災地への支援物資の輸送（ H28. 4.18に実施）

中国地方整備局では、熊本地震発生後、直ちに緊急輸送体制を整え、海面清掃船（呉港）「おんど2000」、港湾業務艇（広島港）「りゅうせい」により、支援物資（飲料水：2ﾘｯﾄﾙ×1,542本、アルファ米：約750食、缶詰：約1,600個）の海上輸送を実施しました。支援物資は別府港に荷揚げ後、別府港湾・空港整備事務所に一時保管された後、地元協力団体により由布市、南阿蘇市、阿蘇市、西原村へ搬送されました。

緊急物資の積込（おんど2000）

別府港に向け出発

緊急物資の積卸（りゅうせい）

緊急物資の積卸（おんど2000）

緊急物資の一時保管